

## マーク打ちの手順

- ① その日の風向、他グループの練習状況を見てO S S Cの海域を決定する。  
※今津湾の風は年間を通じて90%が北寄りである。  
※海域は原則として生の松原海水浴場沖が望ましい。
- ② まず下マークを打つ。  
※マークは船の風上側から下ろす。回収する際も風上側から上げる。(船を風に立てて船首で作業する)
- ③ コンパスで風軸の角度を測り、風上に向かって相当距離を直進し、上マークを打つ。
- ④ 上マークから下マークの角度を確認。(風軸角プラス180°)  
※例：風軸角が30度なら下マークは210度に見えるはず。
- ⑤ 下マーク角プラス45度の方向へ向かって直進、下マークが丁度90(下マーク角マイナス90度)に見えるポイントにサイドマークを打つ。
- ⑥ スタート&フィニッシュ・ライン
  - A) 風上に向かって、下マークのスターボード側に本部船を置き、下マークをアウターリミットに見立てたラインを設定する。  
※ラインの長さは艇数×4m  
※ラインの角度は本部船側を約5度低くする。(アンカーロープで調整する。うねりが高いとアンカーの効きが悪いので注意)
  - B) スタートラインとは別に、本部船の風下側約20mに丸ブイを打ち、本船旗との間をフィニッシュ・ラインとするも可。
  - C) 下マークと上マークの間にフィニッシュ・ラインを設定することもある。(小戸の公式レースでは、これが多い)